

平成 22 年度 第 3 回 CCC コミュニケーション学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 22 年 12 月 3 日 (金) 13 時から 15 時まで

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者: 中西雅之委員、阿部勘一委員、北根精美委員
(事務局) 森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

1. 検討内容

資料①「コミュニケーション関係学教育における学士力の考察」において設定した到達目標に基づき、学士力の実現を目指す ICT 活用授業のモデルについて検討した。

はじめに、到達目標 1・2 を具体化する授業モデルについて、資料③・1 をもとに委員がその内容を説明した。

この中で議論となった点は、対人コミュニケーションとテキストコミュニケーション、メディアコミュニケーションという切り口である。「対人」と対比するのであれば、「非対人」の方がわかりやすいし、「メディア」を軸とするのであれば、「mediated」と「non-mediated」の方が適切である。

この点については、後者の枠組みを用いてコミュニケーションを捉えることで意見が一致した。

次に、資料③・1 で提示された授業計画・授業シナリオの実施方法について、検討された。15 回の授業のなかで、資料に提示されたすべての授業内容を実施するのではなく、教育機関が必要とする内容を抽出して授業を組み立てたり、一部の内容だけを実施したりすることが適当であることが確認された。

次に、授業を実現するための課題について議論された。

授業では、電子メールやテレビ会議を用いた実習が想定されているが、次に示す課題をクリアする必要がある。

- 1) 実施のためのコスト
- 2) 授業をサポートする人材の必要性和人材育成
- 3) チームティーチングの導入
- 4) 受講生の学習に対する取り組み

1) 実施コストについての検討

電子会議システムを実現するためには設備と維持コストが課題となる。しかし、5 年後

の大学教室環境を考えると、ネットワークによる教室間の接続は、多文化間の協働作業の学習環境として標準的に装備される可能性もある。また、SKYPEのような簡易接続タイプのソフトウェアが、コストの問題を解決することになるかもしれない。

2) 授業をサポートする人材の必要性和人材育成

実習や発表を授業に取り入れる際に、授業運営スタッフ（TA、SA、ファシリテータ）の導入が望まれる。

学部の上級生を SA として導入するケースでは 3・4 年生が望ましい。しかし、近年は上級生と下級生との縦のつながりが作られにくいことも事実である。

人材を育成するために、研修制度を設ける場合もあるが、継続的に人材を確保していくためには、大学外の人材開発のノウハウも取り入れながら検討していく必要がある。

3) チームティーチングの導入

メディアによるコミュニケーションの特徴や効果を学ぶ授業では、メディア産業の実務経験者とのチームティーチングの形も有効であろう。

4) 受講生の学習に対する取り組み

自立した学習習慣が身に付かない、また 1 から 10 まで指示をしないと動けない、協働作業を敬遠する学生が増えているという実感がある。対応するためには、クラスや作業グループのサイズを小さくして、学生とのコミュニケーションを密にし、教員が実習の経過を確実に把握できる体制が良い。

あるいは、携帯電話を使い、授業内容にすぐ反応する仕組みを取り入れ、学生の授業参加を促している例もある。

到達目標 3 を具体化する授業モデルについて、資料③・2 をもとに委員がその内容を説明した。

このセクションでは、メディア理解、メディア分析、メディア表現が中心テーマであり、特に後者の 2 点については、メディアリテラシーの修得が目的となる。

メディア分析と表現では、地元の新聞社やテレビ関係者とのチームティーチングを実施している事例がある。また、公開されているメディアリテラシー教材を、大学の授業向けにアレンジして使うことも可能である。

課題としては、到達目標 1・2 で検討したことと同様である。追加事項としては、

5) メディア表現のための作業スペースと時間を確保する、という課題である。

作品の制作を進める上で、授業時間外の活動は必須であるが、協働作業離れの傾向や就職活動の早期化がネックとなる。

また、スタジオの設置、カメラの常備など、設備のためのスペースやコスト、維持コストも検討する必要がある。

2. 次回までの宿題

「学士力の実現を目指す ICT 活用授業のモデル」の議論を踏まえて、内容を修正し、関係者メーリングリストへ投稿できるよう準備を進める。

V. 次回の開催日程

2月から3月の期間中に次回運営委員会を開催する予定。詳細はメーリングリストにより調整する。